

機能評価結果

伊那中央病院

貴院は、平成 21 年に厚生労働省から地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、上伊那医療圏におけるがん診療の中核的な役割を担っていただいております。

この度の機能評価の結果、前回（H23）と比較し、様々な分野で改善がなされたことを大いに評価するところです。

今後、さらに質の高いがん診療の提供に向け、次の点に御対応いただきますよう要望します。

○ 化学療法について

- ・ 年間 2,500 件を超える化学療法が実施される中、多くのレジメンの管理が重要と考えられます。既存のレジメンの運用について、化学療法審議委員会等で有効性を検証の上、必要に応じて更新・廃止の整理をしていただくようお願いいたします。
- ・ 通院治療室における加療環境が大変よく整備されています。今後、予想される患者の増加に伴い、患者と医療者のコミュニケーションをより一層深められるよう、セルフケア支援を行う等の体制整備をお願いいたします。

○ 放射線治療について

県内最新鋭の放射線治療装置の導入により、より高度な放射線治療が期待されます。機器の有効活用に必要な職員の資質向上にもご配慮をいただくようお願いいたします。

また、装置導入に伴う費用対効果について、検証していただくようお願いいたします。

○ 地域の医療機関との連携について

がん診療連携拠点病院等は各医療圏におけるがん診療の中核的な役割を担っていただいておりますが、単体の施設ですべてのがんについて治療を行うことは難しくなってきています。分散と集約化の流れの中で、圏域内外の医療機関と連携した診療提供体制についても、今後検討していただくようお願いいたします。

○ 人材育成について

人材育成に意欲的に取り組まれていることを大いに評価するとともに、さらに専門職の人材活用に加え、専門職をキャリア開発ラダー等で評価する仕組みを示していただき、がん対策が組織に根付く先駆的な取り組みを期待いたします。